




古筆多意極孔了道真准后自詠疑丹之所押



或前此像ニ携于輪池先生ニ乞て谷文晁菅洞齋以下ノ鑑定ヲ歛ニ  
全リ妙澤ニ非ヌ又何人ノ画ナルヲ不知ト云レキガレト奇、古クヨリ妙匠ノ  
画ト云傳ヘタレハ今改メヘキ、非ヌトテ度ニヤリト云レ、檜山坦齋ハ東山殿頃ノ画  
佛師ノ手ニ成レルモノニテ摹押ハ道真ニ違ナシト云リ  
一 文政元年五月廿日、前ノ摹本像刻本キ一枚ヲ、萬村等覺上人奉リニ  
翌日上人所藏ノ不動摹本一枚ヲミセラル、其筆意時代ハヤフ全ク永  
安寺ノ毛下同業ニ似、但少シ小幅ナリ紙中、左ノ如ク七字ヲ題シ  
于草名アリ



明王世薰修行沙門 

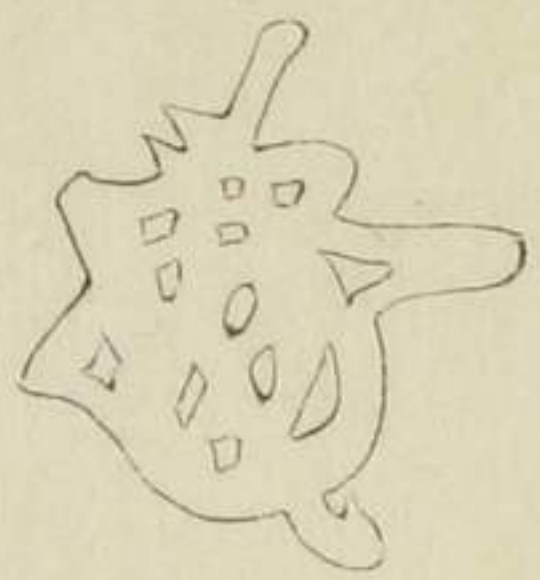
如新アリテ古筆ノ添杖アリ

大智院義視公初剃髮入淨土寺為門主曰義尋寬正五年十二月<sup>言</sup>依兄東山殿義政公余而還俗同日住左馬頭叙從五位下号今出川殿應仁元年歷遊若山古寺時詠和哥尚二年四月忘義政公指上治土明元年九月去京同三年正月七日大納言源義視公薨贈大政大臣芳翰無疑心者也目證之畢

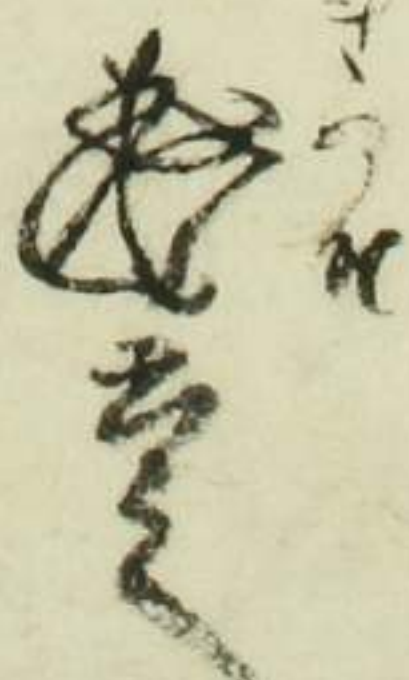
按二華押譜卷ノ一贈大臣ノ部

足利

源義視



浅羽成儀家藏



仲八

又古押譜載ル所如左

足利

義視



所藏ノ名ナシ



如新之より前ノ花押譜ノ方浅羽氏藏判ニテテラシメシハ義從公ト云所亦非ナリトシユキ、惟又何レ此時代ノ宮家ノ押字亦如新ノ辨多クケレハ其条別ハ道奥ノ義視トカ名ヲ標スルモテテ得サレハ其毎以テ及シカタル或ハ續花押數、隨心院殿室大僧正



此判マタ似タル所アリ後日訂正ヲ待ノミ  
以上永安寺ノ藏等覺上人ノ存片ニ同画ニテ同花押ヲ存タレハ



















永徳法脈画

法脈下、書する事あり、事あり、女川山、  
 中、存、中、  
 女川山、



石川  
 石川  
 石川

徳孝  
 徳孝  
 徳孝



石川



石川  
 石川  
 石川



石川

石川



○峯臨寫

之



信

臨

玉



元

○吳瑞卿名天驕

波名曰高是石田  
集事年咏瑞卿書一

詩最多

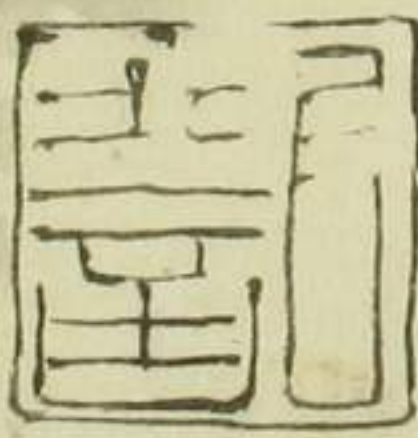
○<sup>宋</sup>趙士衡詩花一相公

長於畫也亦  
意約  
可書

○<sup>宋</sup>

李石字子知幾汝州人  
時作小筆風調遠俗  
其人品既高雖遊戲間亦  
畫形矣

大



子知幾  
石田



立綱 たてづな

目録

巻

英種  
山形



此處あり

アノハシ  
高橋存平

俵欽言名競

古國より人のあやるといふるや人のあやるといふ  
まゝ初巻のあやるといふ社中くといふ極とよぬ  
巻の天狗連字かともいふ<sup>カノクノ</sup>鞍<sup>ヤシク</sup>をにぬを  
大のや二階に浦のうり口たともいふかよ玉環  
の露の詞の空にちんくひとるのこれあめを  
どらにうつるあやるといふむさく  
手あしんたるあやるといふあしん  
くさいものあしんあやるといふあしん







雅人つとめし詩人画家と京班流傳仙學者  
雅言師戲作者嘯翁よえちてんことよれ  
左者日月六冊に託してヤレ先世よお  
学ちるよとせざるよろしく西評判教上り次  
とらり目のしれと月評おちる酒よ  
者よちやよ葉子よ世こもるちりし  
とらりくたのちせ切つるニエリヤまつ松と山吹  
どちらういとく松ふしられ山吹ハ葉をふさ  
てししやいとくやと坊さんさちらふいとく

匠志はにくつら坊さんハ仙あまうらしやは  
ナホスいふこと記くにつけ新筆にむらぬ  
程冊と名々風流ありおぬあこもの  
相了公家ちやいさるのたけけのと平居  
さんやを瀾入葉葉のふりしは坊やエぞ  
きみとくふら坊さんてん況をいさるが  
ことにはるるち坊むくや子いよにあ  
い坊が丹毒のか席敷もそるくとみ人  
三人評するや名にあふ江戸のさる名あれが





かたあふやつしそろりか  
 田原

○高橋傳  
 大板氏

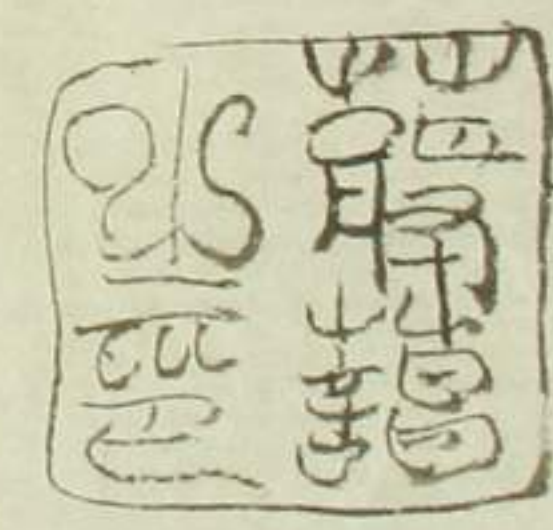
にとうのあせもよのまぢらふにさうし  
 手にとらちび自然ちくじ流捨らふ  
 にや流ちらひるちらひたらちのまぢ  
 へんしとらちらあまのまぢらふのまぢ  
 ちよまぢえりも外まぢらふまぢらふ  
 ちよまぢらふまぢらふまぢらふ  
 ちよまぢらふまぢらふまぢらふ  
 ちよまぢらふまぢらふまぢらふ

五七集  
 身自集



甲寅清和月寫於蘇保真齋

五葺怡雲野人蔣世謁



○春日山ヨシノ原松本善喜信好

耕砚山人 山水

馮嵩 蜀笈遺 卷之輔

○壬元三年山内年晴川

畫書

子抄圖

圖



日本繪川名畫圖





文和之...  
 應永十九年...  
 永享三年...  
 八月...  
 行...  
 子...  
 遷...  
 時...  
 所...

香丹





己巳巳

ツキトヤム  
ツキトヤム

ツキトヤム

寒足劣  
アミチヨヨシ

日斜滿地黃花影開  
勝歸倚是看

沈用



成楊



寒早霜

かまろいふ庭の草も  
けしき人多うし法も  
あはれうけしき

雲田口法眼民部光隆筆

能狂言  
能狂言  
能狂言

雲田口法眼民部光隆筆

尚信

尚信





劫名生先死静名心淨聚  
 法也名生先死先死法也

周世昭年



周世昭年

静也

静也

静也

幸  
 年



雪舟  
 年



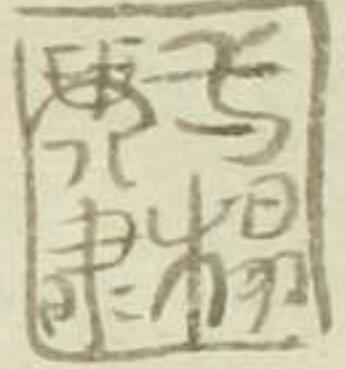
雪舟  
 年







初而 金門画史行于世



2



玉修





探遊は只の音の五十二



探遊は只の音の五十二



探遊



雪舟

雪舟





夏日詠遙聞郭云  
 尤得曹維  
 和歌  
 かあふもくも海に  
 りしとくさげ  
 けりねやまほと  
 やすい



周信  
 白文  
 保正元年八月十六日  
 周信





法眼如川藤原周信筆



周信筆

別所如閑

初子

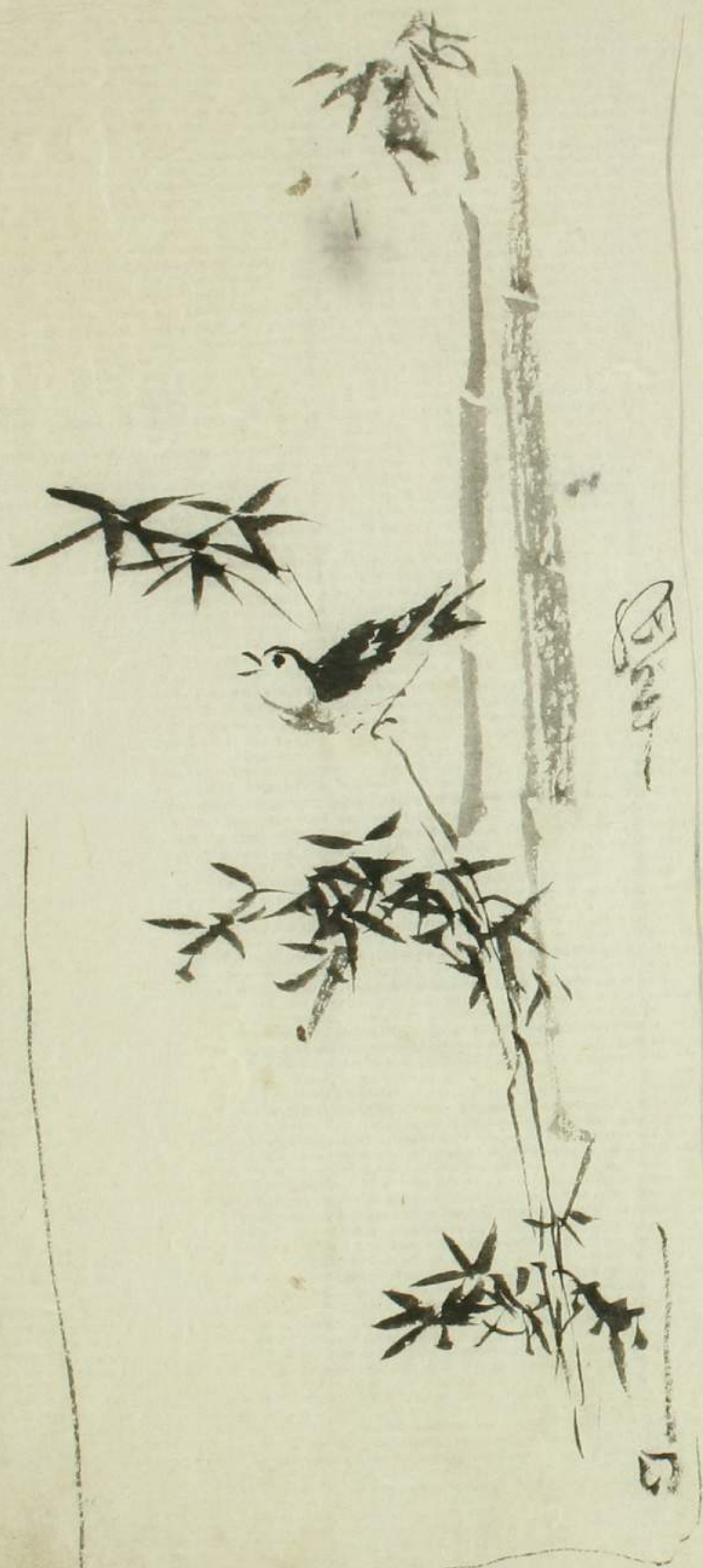


初子  
如閑  
の  
筆

周信筆









常任安氏  
小物如...



剛雪軒任齋七十二歲畫  
一  
壽

溪雨 之三 王蘭亭書

吳下沈初文章田草率勒

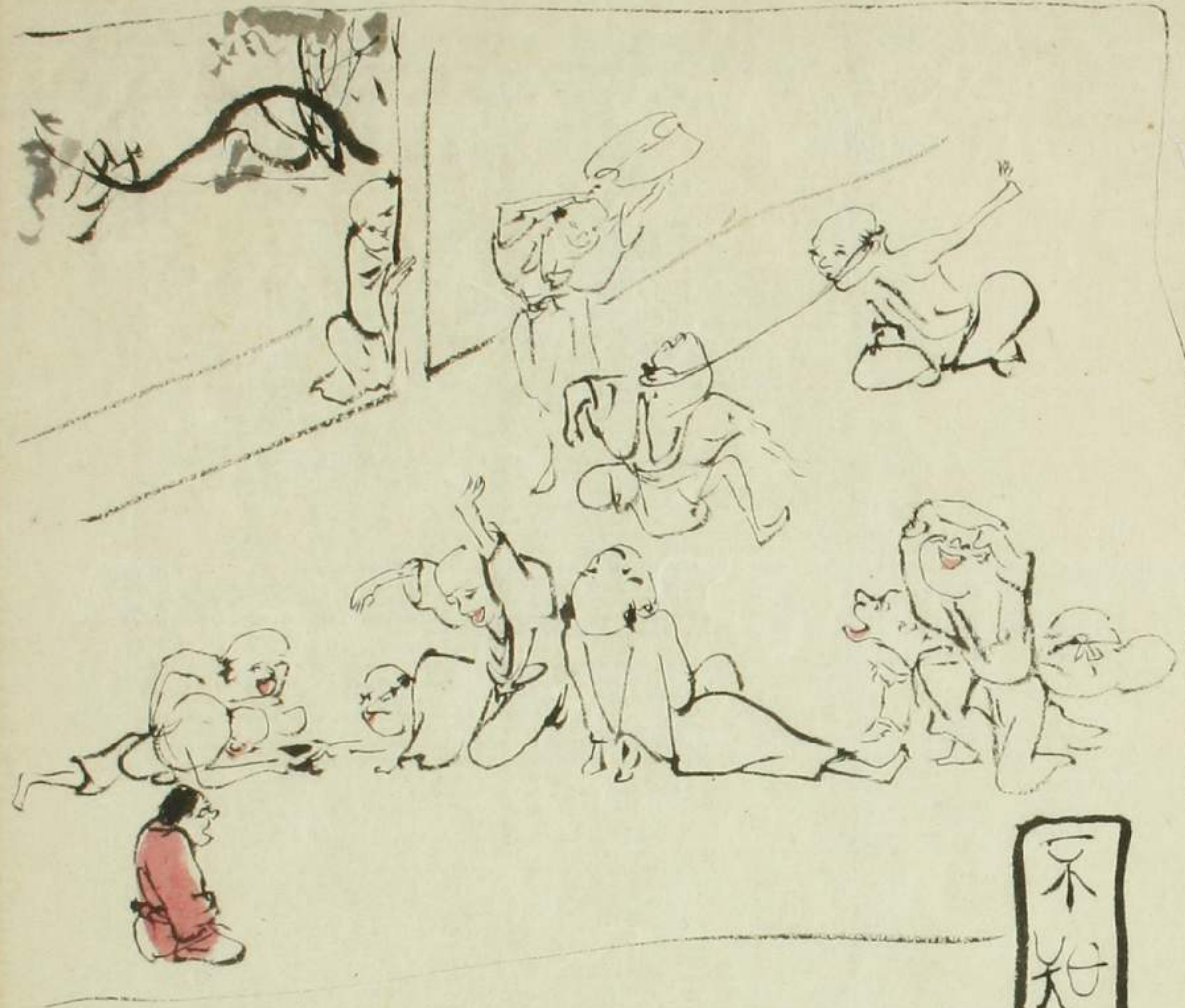


白集 | 白六 | 又

又



可  
口  
の  
移  
し  
支  
移  
の  
人  
の  
心  
の  
心



不  
知  
心









右直宿用宗祐の  
松原松原の  
古くは



五  
子  
有  
子  
子



藤原朝臣中野伴水

識別  
九  
中  
伴  
水  
氏





英一保  
繪



英一保  
繪  
十一  
月  
廿  
四  
日  
於  
京  
師  
大  
學  
書  
院  
藏



此不動尊ノ像永安寺ニ云傳  
 頃ヨリカ大藏村松井坊ト云山伏ノ家  
 聖護院道真准后東国ニ下  
 開眼ノ後押ヲ添玉ヘリ其後松  
 石井氏ニ傳ヘシク元祿頃永安寺



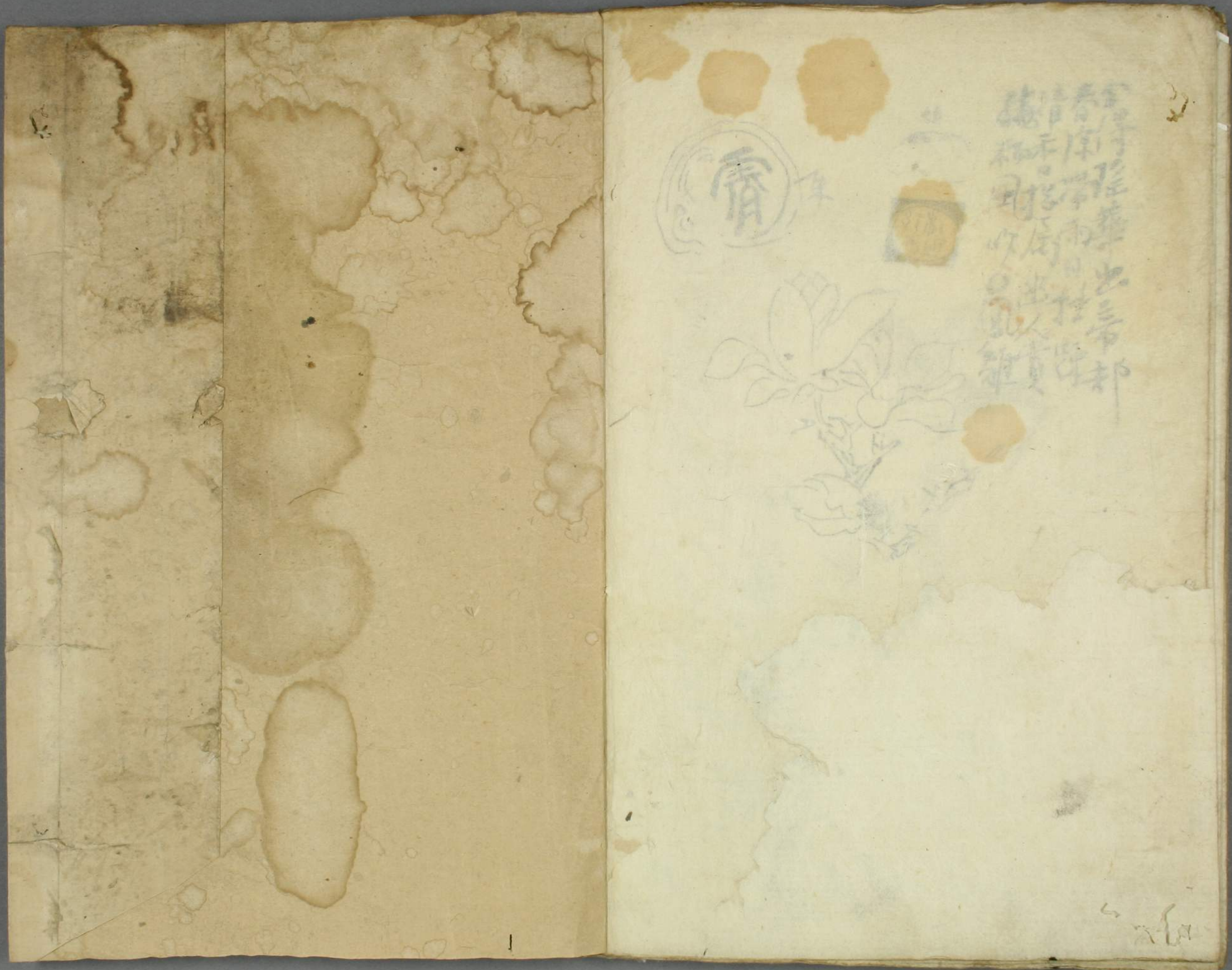
妙淨和尚筆

聖護院道真准后開眼有禪押 武州玉川大藏村永安寺仁物



山松





齋



香齋  
香齋  
香齋  
香齋  
香齋  
香齋  
香齋  
香齋  
香齋  
香齋



香齋



